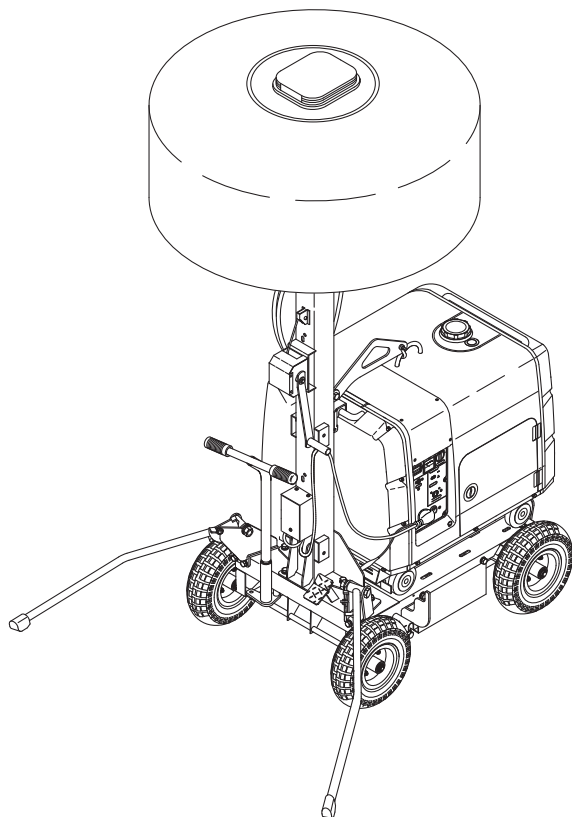


OPERATION MANUAL

取扱説明書

LIGHT BOY

MODEL **LB080D/LB080D-B**
/LB080DI/LB080GI



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ず
本取扱説明書をお読みください。
誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保管してください。

ご不明な点についてはライトボーイ販売会社・特販店にお問い合わせください。

MEMO

このたびは
移動式投光機ライトボーイ LB080 シリーズを
お買い上げいただきまして
ありがとうございます

はじめに

- この取扱説明書は、LB080D/LB080D-B/LB080DI/LB080GI の取扱方法と使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟読のうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも使用できるようにお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店にご請求ください。
また、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お気軽にライトボーイの販売会社・特販店にご相談ください。
- 品質・性能向上あるいは安全上の事情で使用部品の変更をおこなうことがあります。

取扱説明書 名称	LB080D/LB080D-B LB080DI/LB080GI	コード NO.	B-0000349-06
----------	------------------------------------	---------	--------------

■安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様に十分満足いただけるものと信じております。

しかし万一、以下に示した**注意を守らない場合は、やけど・けが・火災などの重大な損害が発生するおそれがあります。**

くれぐれも、以下の**諸注意**をていねいに読み、十分理解されてからご使用ください。

- 本書中、および本製品に貼付けした**警告表示**で使用している**安全標識**とその意味は、つぎのとおりです。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重症を負うに至る切迫した危険性を示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険性を示します。



その警告文に従わなかった場合、軽傷または中程度の障害を負う可能性がある状況を示します。また物的損害の発生のみが予測される場合も示します。

目 次

◆安全上のご注意	4
◆警告表示（ラベル）の貼付位置	16
◆各部の名称	17
◆発電機の搭載方法	19
◇発電機搭載方法【LB080D/LB080DI】	19
◇発電機搭載方法【LB080D-B】	21
◇発電機搭載方法【LB080GI】	22
◆基本操作方法	26
◇ハンドル操作	26
◇駐車ブレーキ操作	26
◇アウトリガー（転倒防止装置）	27
◇点灯角度操作	28
◇マスト操作	29
◇防油堤の操作（LB080D-Bのみ）	29
◆点灯・消灯・再点灯	30
◇バルーンカバーの取外し	30
◇点灯準備	30
◇点灯	31
◇消灯	31
◇再点灯	31
◆収納方法	32
◆フォークリフト操作方法	33
◆各部の取付方法	34
◇バルーンランプ部の取付	34
◇ウインチハンドルの取付	34
◆各部の交換方法	35
◇バルーン布交換	35
◇フィルター交換	36
◆文字シートオプション	37
◆点検・整備・保管	38
◆トラブルの対処方法	40
◆主要諸元表	47
◆わからないことや、故障したら	48

◆安全上のご注意

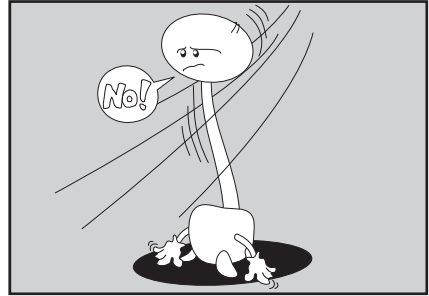
1. 設置

強風時はランプ位置の高さを下げてください

⚠危険

強風時にマストを伸ばしたまま使用すると、投光機が転倒し大事故になるおそれがあります。

- 風でバルーンがへこむときはマストを下げて使用してください。
- マストを下げて大きくへこむときは使用を中止してください。



◎強風時とは風速 10m/s 以上。

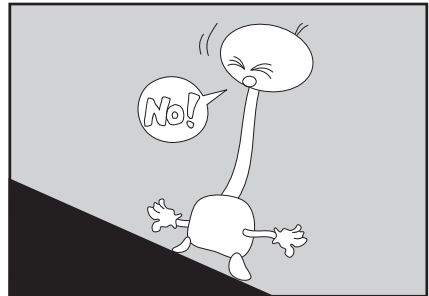
(大枝が動く、電線が鳴る、傘がさしづらいなどの状態時)

傾斜地での使用を避けてください

⚠危険

転倒防止のため傾斜地や地盤の軟弱な場所は避けて、しっかりした水平な場所に設置してください。

- 傾斜地とは約 5° 以上をさします。
- 移動防止のため必ず駐車ブレーキをかけてください。また、車輪止めも必ずおこなってください。



アウトリガー(転倒防止装置)を使用してください

⚠危険 転倒防止のため強風時および発電機が搭載されていない状態などでは必ずアウトリガーを使用してください。

- 発電機が搭載されていない場合は発電機相当の重し(約 100kg)を載せて使用してください。

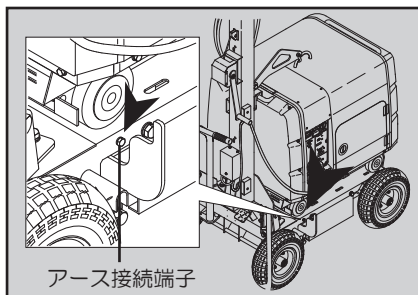
⚠危険 設置状況によって転倒の危険が異なります。より安全性を増すために、ロープと枕木による固定をおこなってください。

◎半径 5m 以内の安全を確認して使用してください。

⚠注意 足元に注意して設置してください。

アース接続端子を設けてあります

⚠注意 アースを使用する場合は、専用端子に接続しアース棒等を接地してください。



2. 運搬

運搬前に投光機を確認してください



危険

角度レバーやボルトの締付けを必ずおこなってください。ゆるんだ状態で運搬すると機器が損傷したり、バルーンランプ部が抜け落ち大けがをすることがあります。

- 投光機を運搬する前に、バルーンランプ部の角度レバーを締め付けて動かないことを確認してください。
- 運搬時にバルーンカバーが外れないよう、確実にカバーの口を閉めてください。
- 高速走行、悪路走行等での運搬時は破損や脱落のおそれがあるので、バルーンランプ部を外してください。

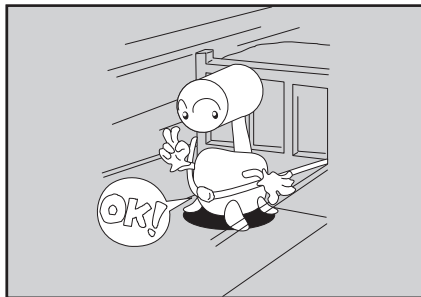
確実に固定してください



危険

車で運搬するときは駐車ブレーキをかけ、ロープ等で固定してください。機器が破損したり、落下、転倒するおそれがあります。

- 機械に衝撃が加わるとランプや発電機が破損します。



高さに注意してください



危険

マストを伸ばしたままですとトンネルやガードに衝突し大事故を引きおこしたり、機器が破損するおそれがあります。

- 車で運搬するときはマストを完全に下げ、バルーン部を倒して収納カバーを使用してください。
- 車で運搬時など高さがぎりぎりの時にはバルーンランプ部を分離して運搬してください。

◎収納時高さ：1780 (mm)

坂道での移動に注意してください

⚠危険 急な坂道での移動は、投光機が暴走したり人がはさまれるおそれがあります。

- ブレーキの開放時、投光機が自重で移動する坂道等では、投光機の動きに注意して力の加減をおこなってください。また、投光機が暴走するような急な坂道での移動は、人の力で移動せず、車で設置場所まで運搬してください。

トラックなどへの積降時はご注意ください

- 積降作業は平坦な場所でおこなってください。

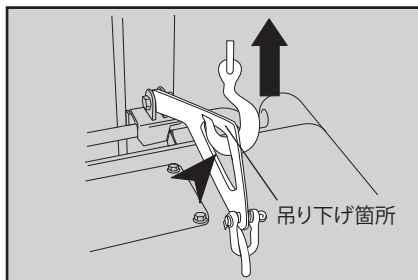
⚠危険 傾斜地などバランスのとりにくい場所での積降作業は投光機が落下し破損したりけがをするおそれがあります。

⚠危険 ブレーキ解除時は自重で投光機が移動して落下し破損したりけがをするおそれがあります。駐車ブレーキをかけ、必ず車輪止めも使用し、投光機の動きに注意して作業してください。

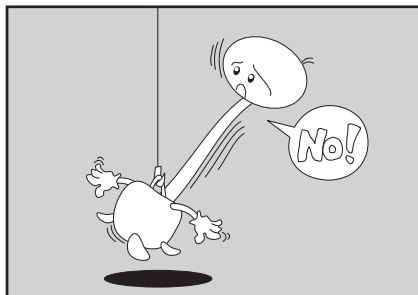
指定の吊り下げ箇所を使用してください

⚠危険 落下したり、けがをするおそれがあります。指定の吊り下げ箇所以外で吊り下げないでください。

- 発電機をセットした時、吊り下げ箇所でバランスがとれるようにしてあります。



⚠危険 移動時および吊り下げ時はマストを完全に下げてください。ワイヤ外れや転倒でけがをするおそれがあります。



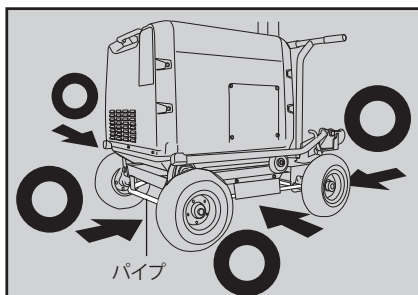
◎クレーン以外での吊り下げはしないでください。

フォークリフト作業は注意してください

- フォークリフトは必ず台下下部パイプの下にツメを奥まで差込み運搬してください。

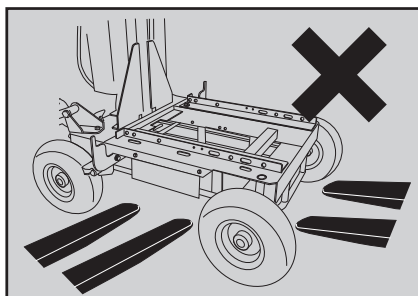
⚠危険

発電機が搭載されていない状態でのフォークリフト作業は避けてください。バランスが一定でなく、落下し破損したり大けがをすることがあります。



⚠危険

フォークリフトの走行に注意してください。急旋回や急停車などを行うと投光機が落下し破損したり大けがをすることがあります。



移動時にバルーンを直接下に置かないでください

⚠注意

ランプ部を移動時に荷台等に横置きされると、布が摩擦で切れるおそれがあります。

- ランプ部をはずして移動する場合、必ず毛布等でバルーンを保護し、布がこすれないようにしてロープ等で固定して運搬してください。

3. バルーン

ランプ点灯中はバルーンに触れないでください

- 点灯中にバルーンを押ししたり叩いたりしないでください。また、ファスナーを開いてランプに触れたりしないでください。
- バルーンは布製です。バルーンに火を近づけたり、鋭利な道具で刺したりしないでください。



警告

点灯中および消灯直後のランプは高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷えてから作業してください。



注意

火気を近づけると破れて使用できなくなります。バルーン布が破れた状態で使用すると、バルーンが十分に膨らまないうえ、異物の侵入や水分の付着等がおこり、ランプが点灯しない場合があります。

収納状態のまま点灯しないでください



注意

バルーン布のファスナーをしっかり閉めてバルーン布が膨らむ状態で使用してください。

使用後はカバーを利用してください



注意

バルーン布は消耗品です。使用環境や保管状況などにより劣化が早まる場合があります。

- 使用前や使用後は、ファスナーが完全に閉じていることを確認してください。
- 未使用時は泥や汚れを落とし、カバーをかけて保管してください。

4. 発電機

スイッチを入れたままで発電機の始動・停止をしないでください

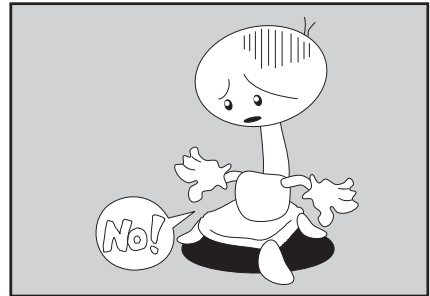
- 始動直後および停止時の発電機は状態が不安定となりますので、発電機が安定してから電源スイッチを入れてください。また、必ず電源スイッチを切ってからエンジンを停止してください。

⚠注意 スwitchを入れたままエンジンを始動・停止すると発電機が壊れる場合があります。

出力に余裕のある発電機を使用してください

- ランプ点灯中に他の機器を使用する場合は搭載している発電機の容量に注意してください。発電容量以上の負荷が繋がるとランプの消灯の原因になります。

⚠注意 発電機のマッチングの問題により、点灯しない場合があります。



発電機の取扱注意事項を守ってください

- 詳細はお手持ちの発電機の取扱説明書を参照してください。

5. 点灯時

感電、漏電に注意してください



投光機がぬれた状態、またはぬれた手で操作すると、漏電等の故障になるばかりではなく、操作の際に感電するおそれがあります。



- 投光機は防水型ではありません。雨や雪の中、水しぶきのかかるような場所で使用したり、水たまり等に浸水させて操作しないでください。
- 水没した場合は使用を中止してください。

電源プラグや端子部に注意してください

- プラグによごれや異物がないか確認したうえでコンセントにしっかりさしてください。



作動中は電源プラグや端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。



AC 線に異常な発熱がみられた場合ただちに使用を中止してください。

- 使用しない時はプラグを抜いてください。

周囲温度に注意してください

- 周囲温度 -10℃～ 40℃の場所で使用してください。



温度が40℃以上で使用するとランプが点灯しなくなります。また、LED 電源の寿命がいちじるしく短くなります。

強い衝撃にご注意ください

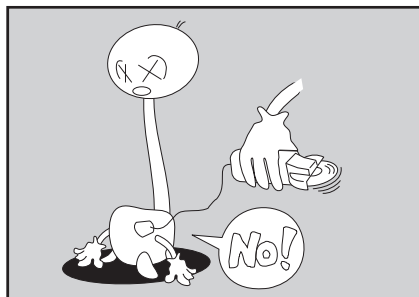


注意

強い衝撃が加わるとランプ寿命が著しく低下したり、破損するおそれがあります。

他機器との併用時は発電機の容量を確認してください

- 電気容量を超えた場合、ランプの消灯などの原因になります。



6. マスト昇降操作

マスト昇降時は注意してください

⚠ 危険 ワイヤロープ腐食・ほつれ等発生時は早急に交換してください。
ワイヤロープが切れ、落下するおそれがあります。

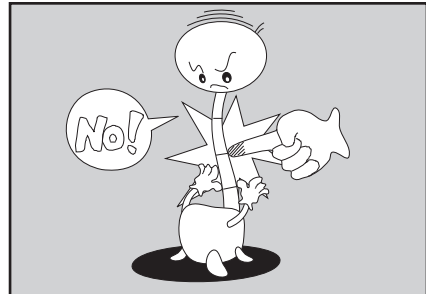
⚠ 危険 マスト上昇時は、電線に注意してください。接触すると感電する
おそれがあります。



⚠ 警告 マスト昇降時は、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。



⚠ 注意 マスト上昇時は、頭上に何も無いことを確認してください。接触すると機器や接触物が破損するおそれがあります。



7. 点検・整備・保管



警告

消灯直後のランプやバルーンは高温です。やけどのおそれがありますので、十分気をつけて取扱ってください。



点検・整備をおこなってください

- 使用前、使用後や長期保管前には泥や汚れを落とし、注油・グリスアップなど必ず点検・整備をおこなってください。
- 金属同士が擦れ合う部分には、定期的に注油・グリスアップをおこなってください。
- タイヤ空気圧を調整してください。



危険

タイヤ空気圧が減少しますとブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

- 防油堤の液を抜く時には直接地面に流さないでください。容器に入れて、適切に処分してください。
- 防油堤の液抜き後、コックを閉め忘れないでください。

保管の方法

- 泥や汚れを落とし、注油・グリスアップをおこないます。
- バルーン布は消耗品です。使用環境や保管状況などにより劣化が早まる場合があります。
- 保管は、できるだけ室内で行ってください。
- ブレーキをかけ、雨ざらしや湿度の高いところを避けて保管してください。

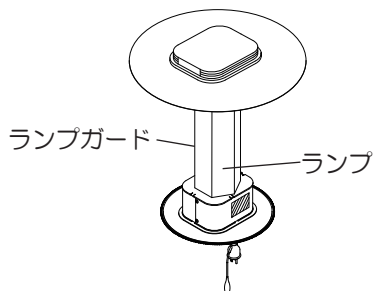
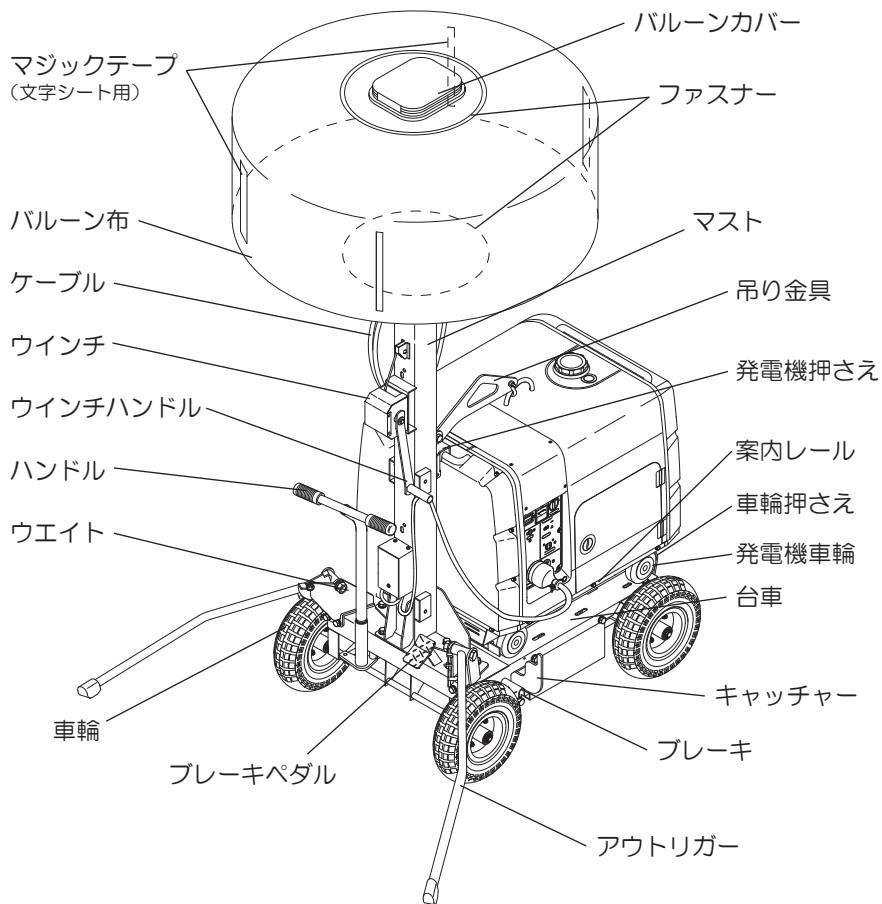
8. 基本注意事項

基本を守ってください

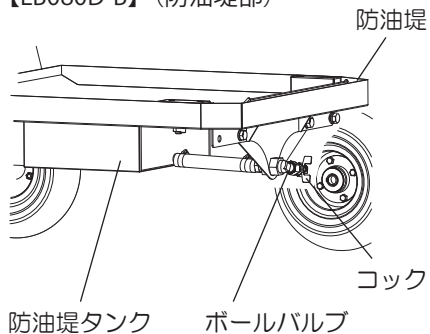
- 飲酒時に取扱わないでください。
- 過労や睡眠不足などで体調が悪いときは取扱わないでください。
- だらだらの服、装飾品など機械部品にひっかかる可能性のあるもの、また油などの付着した作業着は引火しやすいので着用したまま取扱わないでください。
- けが防止のため服装は常にきちんとし、靴はすべり止めのついたものを着用してください。
- 改造しないでください。
- 操作時にはまわりをよく見て安全を確認してください。

◆各部の名称

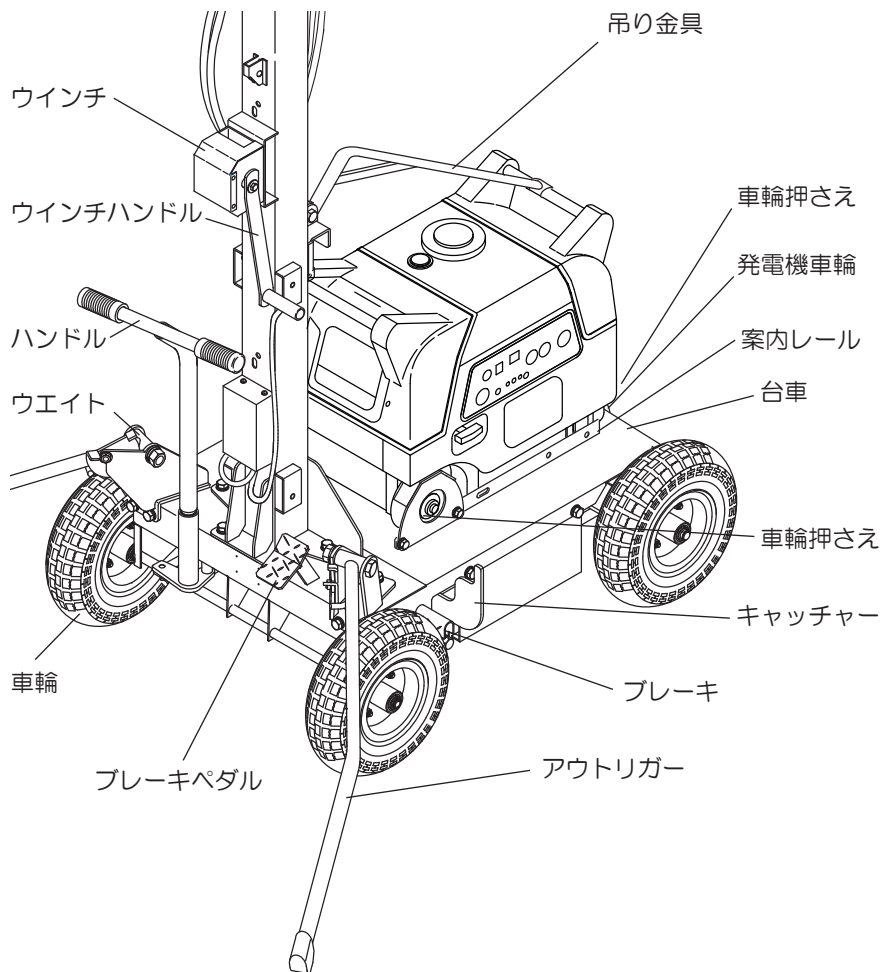
【LB080D/LB080DI】



【LB080D-B】(防油堤部)



【LB080GI】



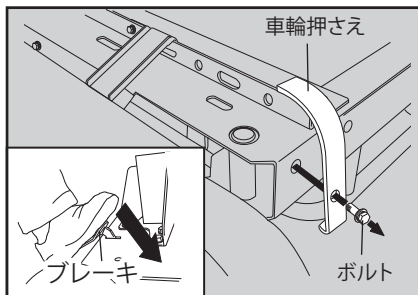
◆発電機の搭載方法

◎この項は発電機を搭載する場合にお読みください。

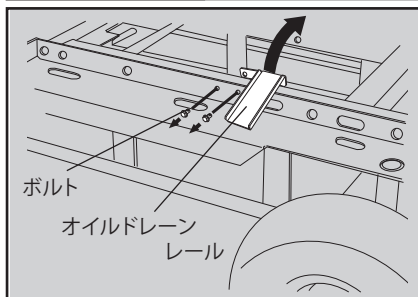
◎すぐに使用可能な状態の場合は次項の「◆基本操作方法」よりお読みください。

発電機搭載方法【LB080D/LB080DI】

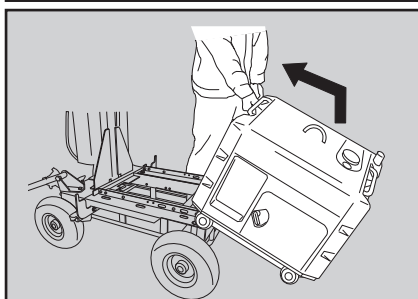
1. 台車が動かないようにブレーキをかけます。
2. 台車前方の左右の車輪押さえを外します。



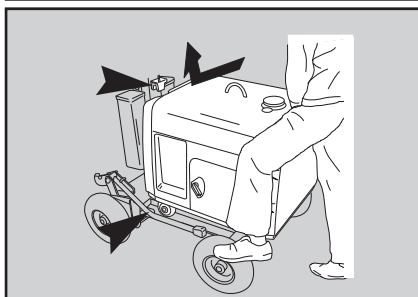
3. オイルドレーンレールを外します。



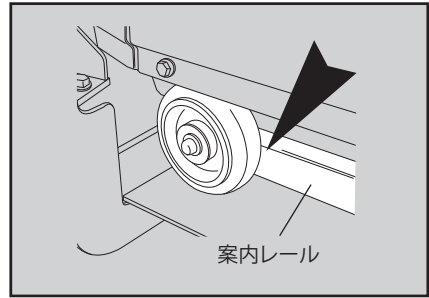
4. 発電機後部（排気口の反対側）を持ち上げて後輪を載せます。



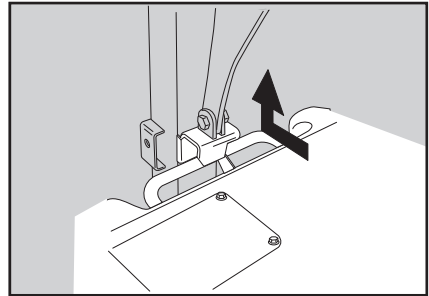
5. 前部を持ち上げ、そのまま奥に押し入れます。



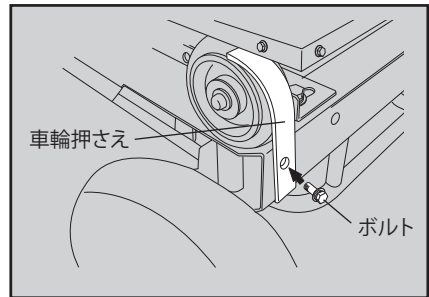
6. 発電機コントロールパネル下の車輪の内側が右図のように案内角レールに接しているように押し入れてください。



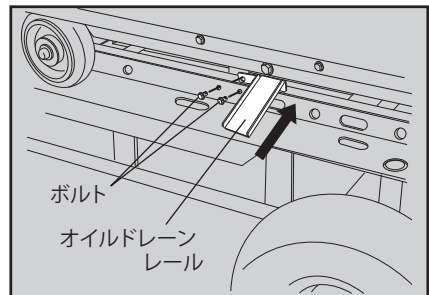
7. 後部の手すりパイプを発電機押さえにはめ込むようにして発電機を完全に載せます。



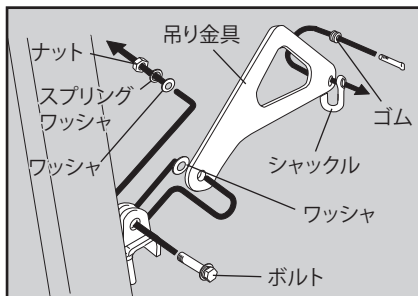
8. 車輪押さえを取り付け、ボルト (M12) で車輪が動かないように左右両側を締付けます。



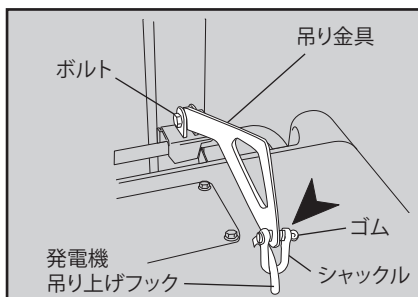
9. オイルドレンレールを取り付け、ボルト (M6) で締付けます。



10. 吊り金具の一方をマストの発電機押さえにワッシャ、スプリングワッシャ、ボルトおよびナット（M12）を使用して取付けます。



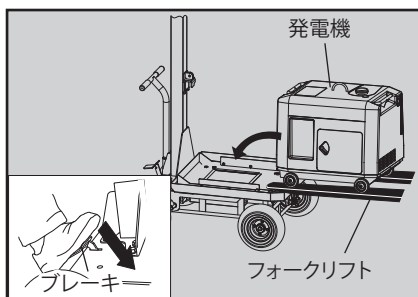
11. ボルトおよびナット（M12）をゆるめたまま、もう一方のシャックルにゴムを通して発電機吊り上げフックにつないでください。
12. 吊り金具の締付けボルト（M12）を締付けてください。
13. 電源コードのプラグを発電機のコンセントに差し込んでください。



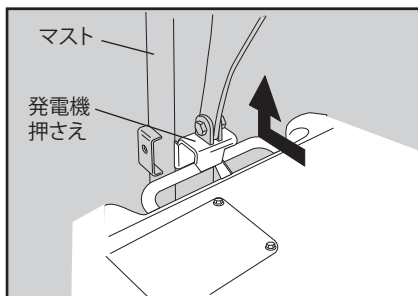
発電機搭載方法【LB080D-B】

1. 台車が動かないようにブレーキをかけます。
フォークリフトやクレーン等を使用し、防油堤内に発電機を搭載します。

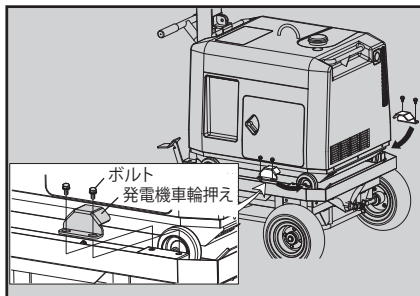
◎防油堤装着時は、手での発電機搭載は困難です。



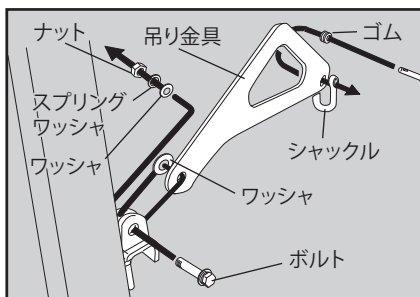
2. 後部の手すりパイプを発電機押さえにはめ込むようにして発電機を完全に載せます。



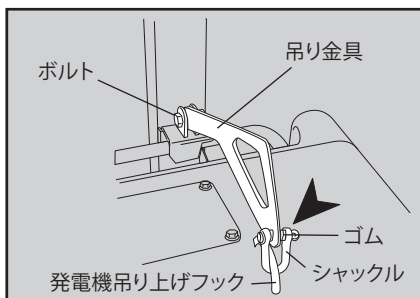
3. 発電機車輪押えを2ヶ所(ボルト4ヶ所)取付けます。



4. 吊り金具の一方をマストの発電機押さえにワッシャ、スプリングワッシャ、ボルトおよびナット(M12)を使用して取付けます。

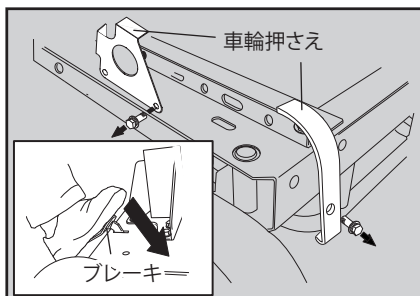


5. ボルトおよびナット(M12)をゆるめたまま、もう一方のシャックルにゴムを通しながら発電機吊り上げフックにつないでください。
6. 吊り金具の締付けボルト(M12)を締付けてください。
7. 電源コードのプラグを発電機のコンセントに差込んでください。

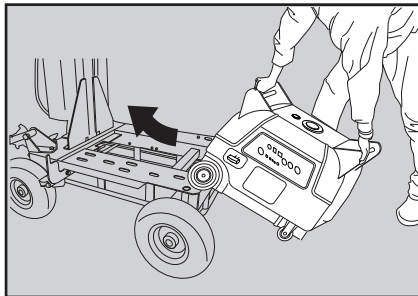


発電機搭載方法【LB080GI】

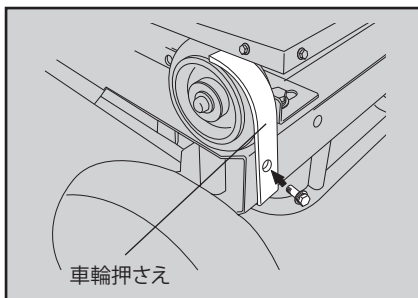
1. 台車が動かないようにブレーキをかけます。
2. 車輪押さえをとめているボルトを外し、左右の車輪押さえを取外します。



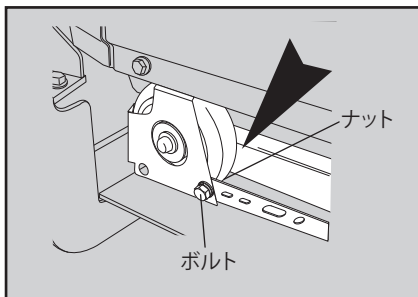
3. ハンドル側から見て右に操作パネルがくるように発電機を載せ、そのまま奥に押し入れます。



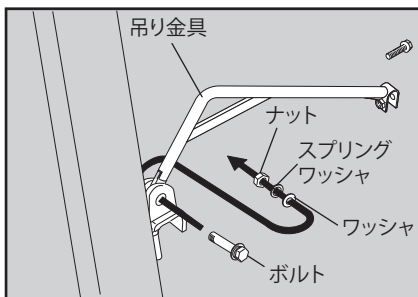
4. 車輪押さえ側から先ほど外したボルト (M12) を左右両前輪押さえを取り付けます。
5. 反対側の車輪にも同様に取付けます。



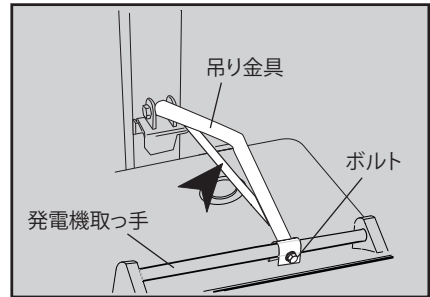
6. 後輪押さえを発電機後輪に側面からかぶせるように取付けます。レールの裏側からナットを使って、車輪押さえを締付け発電機車輪を固定します。
7. 反対側の車輪にも同様に取付けます。



8. 吊り金具の一方をマストの取付位置にワッシャ、スプリングワッシャ、ボルトおよびナット (M12) を使用して取付けます。



9. 吊り金具のもう一方を発電機のフレーム中央のに被せ、吊り金具の締付けボルト (M12) を締付けてください。
10. 電源コードのプラグを発電機のコンセントに差し込んでください。



MEMO

◆基本操作方法

ハンドル操作

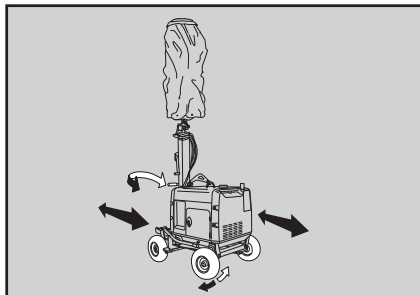
■前後進

- ハンドルを前に押すと前進し、後ろへ引張ると後退します。

■左右方向

- ハンドルを左右にひねると、前車輪が右左へ向きを変えます。

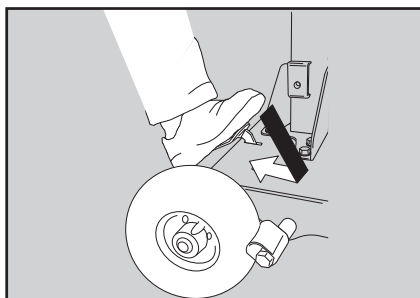
◎力が加えやすいようにハンドルと車輪の動きが逆になっています。



駐車ブレーキ操作

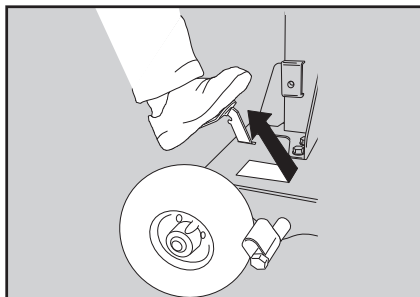
■ブレーキ制動

- ブレーキペダルを踏込み、足元へ引寄せるとタイヤがロックしてブレーキがかかります。



■ブレーキ解除

- ブレーキペダルを前に押出すように踏戻すと、ブレーキのロックが解除されます。



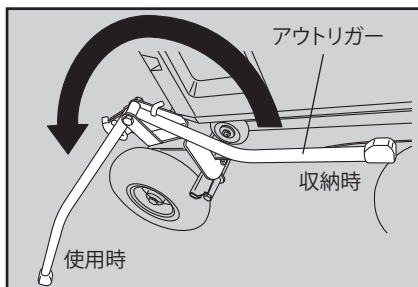
⚠危険

坂道や傾斜地への駐車はブレーキでのロック以外に、車輪止めも必ずおこなってください。

アウトリガー (転倒防止装置)

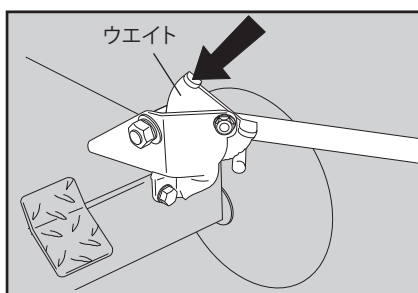
■設置

- 台車側面に収納してあるアウトリガーを回転させてセットします。アウトリガーは自動でロックします。



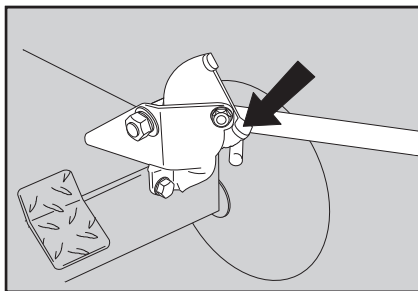
- アウトリガー用ウエイトの動きが悪い場合は、右図の矢印部を軽く踏んでください。

⚠危険 発電機を載せていない場合や風のある場合の使用時には転倒のおそれがありますので、必ずアウトリガーを使用してください。

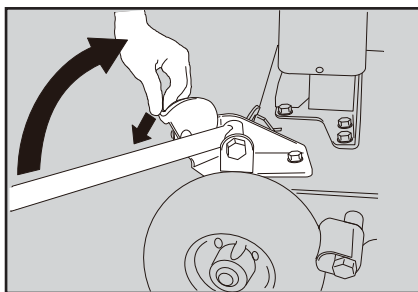


■収納

- アウトリガー用ウエイトの矢印部を強く踏んでウエイトを起こしてください。

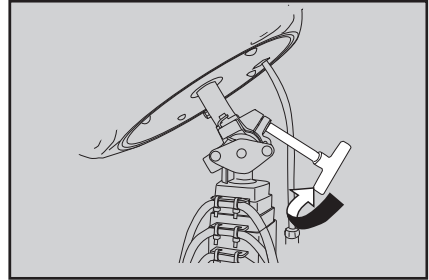


- 右図のようにウエイトを押さえ、アウトリガーを回して台車に収納してください。



点灯角度操作

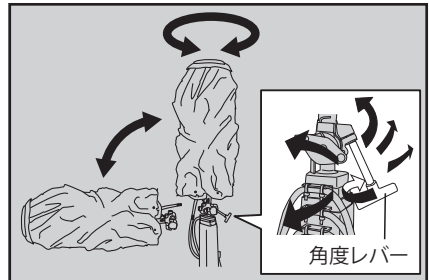
- バルーンスタンドの角度レバーをゆるめます。



- 角度レバーをゆっくりとスライドさせ、上下左右、任意の角度に調整します。

⚠警告

バルーン部を倒す際は、バルーン部に手を添え、ゆっくりと、倒す方向に危険なものがないか確認し、周囲に注意しておこなってください。



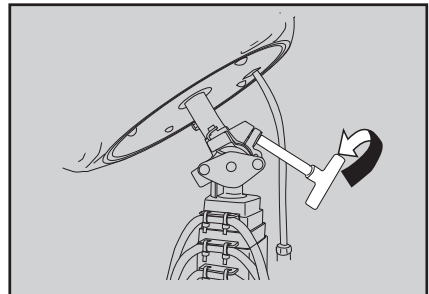
⚠警告

角度を調整する際は、バルーン部をマストにはめ込んだ状態でおこない、回転部に手を挟まないよう注意してください。

- 角度を定めたら角度レバーを締付けます。

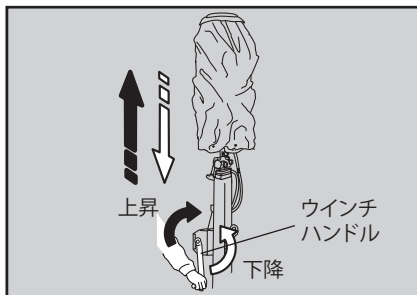
⚠危険

角度を調整したあとは、角度レバーの締付けを必ずおこなってください。ゆるんだ状態で作業すると機器が損傷したり、バルーンランプ部が抜け落ち大けがをするおそれがあります。



マスト操作

- 高さを変えるには
- ウインチハンドルを右（時計回り）に回すとマストが上昇し、左に回すとマストが下降します。



⚠危険 ワイヤロープ腐食・ほつれ等発生時は早急に交換してください。ワイヤロープが切れ、落下するおそれがあります。

⚠危険 マスト上昇時は、電線に注意してください。接触すると感電するおそれがあります。



⚠警告 マスト昇降時は、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。



⚠注意 マスト上昇時は、頭上に何も無いことを確認してください。接触すると機器や接触物が破損するおそれがあります。

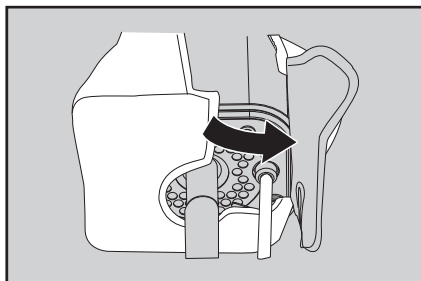
防油堤の操作 (LB080D-B のみ)

- 事前に用意した容器を防油堤コックの下に置く。
- コックをひねって、タンクに溜まっている油などを容器に流します。
- コックを閉めます。

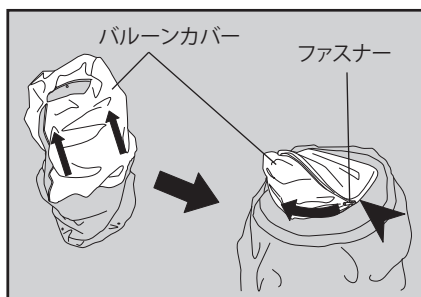
◆点灯・消灯・再点灯

バルーンカバーの取外し

- バルーンカバーのマジックテープを外し、ファスナーを開けます。



- バルーンカバーをまくり上げ収納し、ファスナーを閉じます。



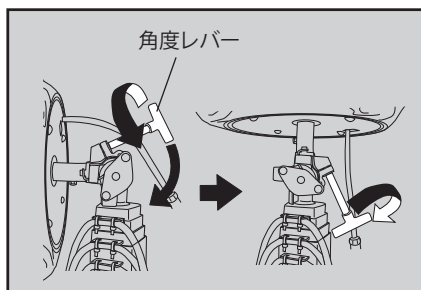
点灯準備

- 角度レバーをゆるめます。
- 角度レバーをゆっくりと手前にスライドさせ、バルーン部を任意の角度に調整します。
- 角度レバーを締付けます。



警告

バルーン部を起こす際は、バルーン部に手を添え、起こす方向に危険なものがないか確認し、周囲に注意しておこなってください。



警告

角度を調整する際は、バルーンランプ部をマストにはめ込んだ状態でおこない、回転部に手を挟まないよう注意してください。



危険

角度を調整したあとは、角度レバーの締付けを必ずおこなってください。ゆるんだ状態で作業すると機器が損傷したり、バルーンランプ部が抜け落ち大けがをするおそれがあります。

点灯

◎発電機のオイル、バッテリー液、燃料を確認します。

◎投光機以外の電気器具が接続されている場合は外してください。

◎発電機の交流スイッチが(OFF)になっていることを確認します。

●発電機を始動します。(始動要領は発電機の取扱説明書をご覧ください。)

◎約3分間、暖気運転をしてください。

●発電機の交流スイッチを(ON)にします。



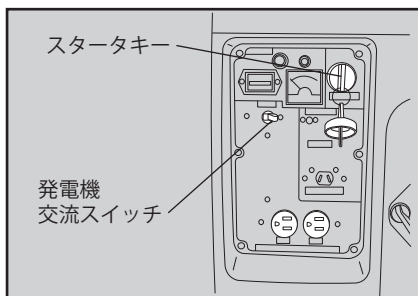
警告

点灯中および消灯後のランプやバルーンは高温です。やけどのおそれがありますので、十分気をつけて取扱ってください。



注意

発電機の交流スイッチを(ON)にしたままで発電機を始動・停止すると発電機の故障の原因になりますので、必ず交流スイッチの(OFF)を確認したうえで発電機の始動・停止をおこなってください。発電機に交流スイッチがない場合は、プラグを抜いた状態で発電機の始動・停止をおこなってください。



消灯

●発電機の交流スイッチを(OFF)にします。

●発電機を停止します。

◎発電機の停止は必ず最後におこなってください。

再点灯

◎交流スイッチが(OFF)になっていることを確かめます。

●発電機を始動 → 交流スイッチ(ON)の順序で点灯します。

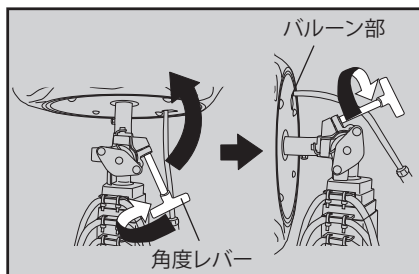
◆収納方法

⚠警告

消灯直後のランプやバルーンは高温です。やけどのおそれがありますので、十分に冷えてから作業してください。



1. 角度レバーをゆるめます。
2. バルーン部に手を添えて角度レバーをゆっくりと斜め上にスライドさせ、バルーン部を水平に倒します。
3. 角度レバーを締付けます。



⚠危険

角度調整後は、角度レバーの締付けを必ずおこなってください。ゆるんだ状態で作業すると破損したり、バルーンランプ部が抜け落ち、大けがをするおそれがあります。

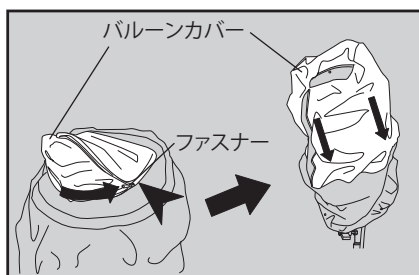
⚠警告

角度調整時は、バルーンランプ部をマストにはめ込んだ状態でおこない、角度レバー回転部に手を挟まないよう注意してください。

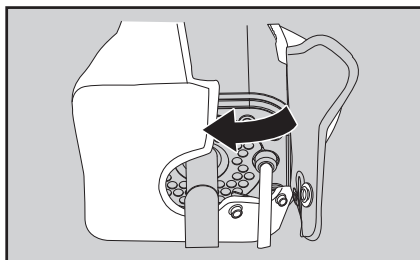
⚠注意

バルーン部を倒す際は、バルーン部に手を添え、倒す方向に危険なものがないか確認し、周囲に注意しておこなってください。

4. バルーン上部のバルーンカバーを開き、灯部にかぶせます。



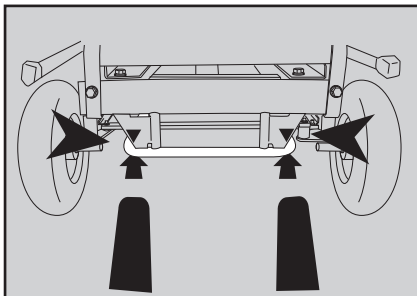
5. カバーのファスナーを閉めてマジックテープをはめ合わせます。



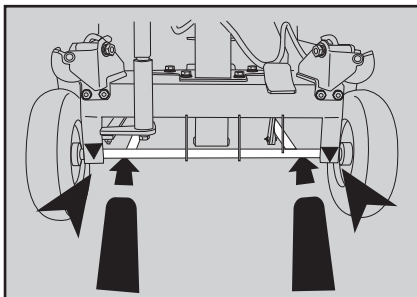
◆フォークリフト操作方法

- ◎投光機に発電機が搭載、セットされていることを確認してください。
- ◎マストを完全に下げてください。
- ◎それぞれの方向の台車下部誘導ラベル(▼)部分を目安にフォークリフトのツメを合わせ、丸パイプ下に奥まで差し込みすくい上げます。

■前方より

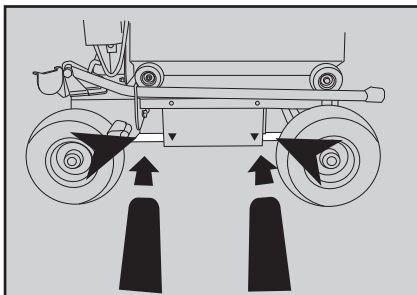


■後方より (ハンドル側)



■左右側面より

⚠ 警告 フォークのツメがタイヤに当たるまで広げて作業してください。



⚠ 危険 発電機が搭載されていない状態でのフォークリフト作業は避けてください。バランスが一定でなく、落下し機器が破損したり大けがをするおそれがあります。

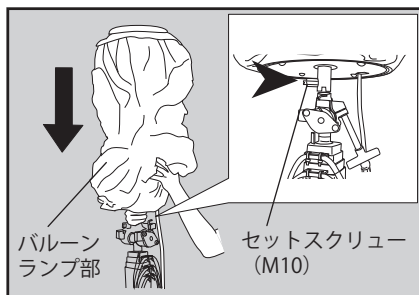
⚠ 危険 フォークリフトの走行に注意してください。急旋回や急停車など走行によっては投光機が落下し破損したり大けがをするおそれがあります。

◆各部の取付方法

バルーンランプ部の取付

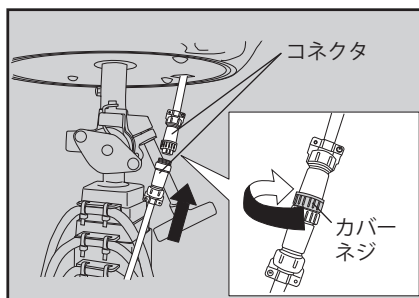
1. バルーン部を垂直にはめ込み、セットスクリュー(M10)を締め付けます。

⚠危険 セットスクリューの締め付けを必ずおこなってください。ゆるんだ状態で作業すると機器が損傷したり、バルーンランプ部が抜け落ち大けがをすることがあります。



2. コネクタを接続し、カバーネジを締め付けます。

⚠危険 同じ取付け方式のコネクタを接続し、カバーネジを最後までしっかりと締め付けてください。ゆるい状態や、形状の異なるコネクタで使用すると故障したり結線部がショートするおそれがあります。

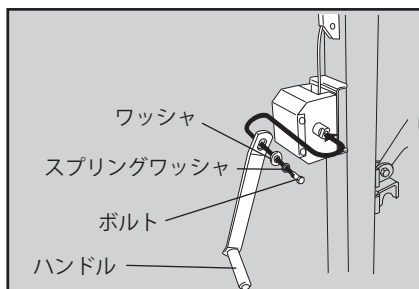


⚠危険 通電中にコネクタの着脱をしないでください。コネクタが損傷するおそれがあります。

◎運搬時などバルーン部を分離するときは、本項の逆順(2 → 1)でおこなってください。

ウインチハンドルの取付

1. ボルトやワッシャなどを使用してハンドルを右図のようにウインチに固定します。



◆各部の交換方法

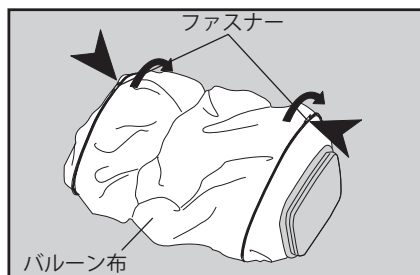


点灯中および消灯直後のランプは高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷えてから作業してください。

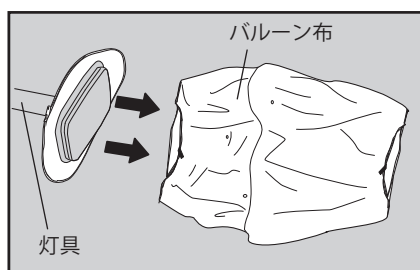


バルーン布交換

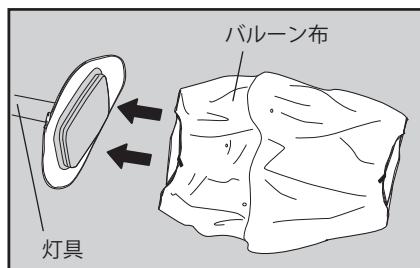
1. バルーン部を角度レバーで水平に倒してください。(倒し方は32頁「◆点灯・消灯操作方法 消灯後」を参照してください。)
2. バルーン布の上下のファスナーを開きます。



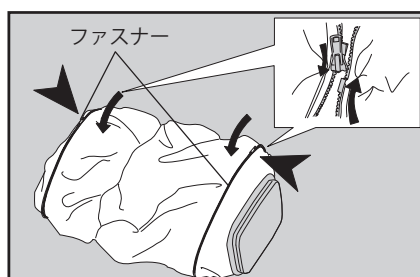
3. バルーン布を灯具から取り外します。



4. 新しいバルーン布を灯具にかぶせませす。

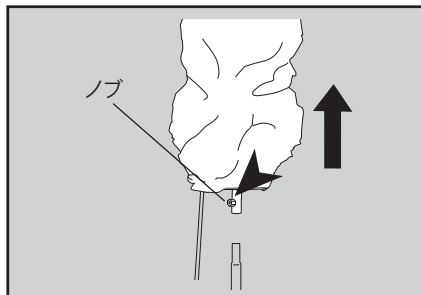


5. バルーン布の上下のファスナーをそれぞれ灯具に付いたファスナーにはめ合わせて閉じます。

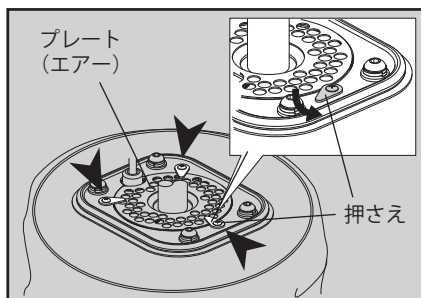


フィルター交換

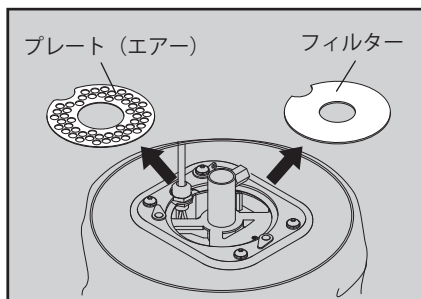
1. ノブをゆるめてバルーン部を両手で垂直に持ち上げて取り外します。



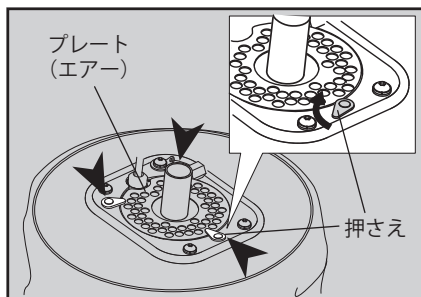
2. フィルター側が上にくるように外したバルーン部を置き、プレート（エアー）の3箇所の押さえをスライドさせます。



3. プレート（エアー）を外して、フィルターを交換します。

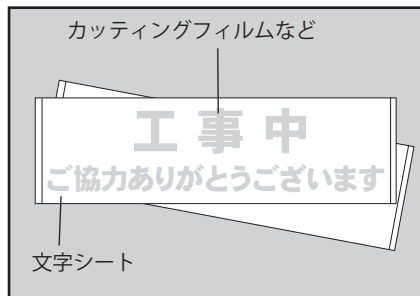


4. 交換したフィルターの上にプレート（エアー）をはめ込み、押さえを戻して固定します。



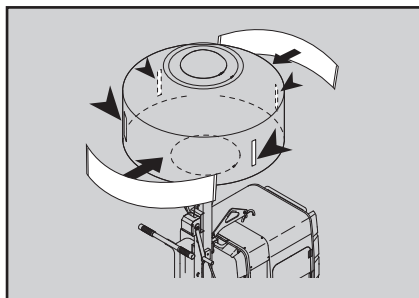
◆文字シートオプション

- 任意の文字や絵をカットフィルムなどで貼り付けることができます。



- フィルムやラベルを貼った文字シートのマジックテープをバルーンのマジックテープと合わせ装着します。

◎バルーンの正面と裏面と二箇所
に貼付けできます。



⚠注意

マジックテープはしっかりと貼り合わせてください。風などでとばされるおそれがあります。

◆点検・整備・保管



警告

点灯中および消灯直後のランプは高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷えてから作業してください。



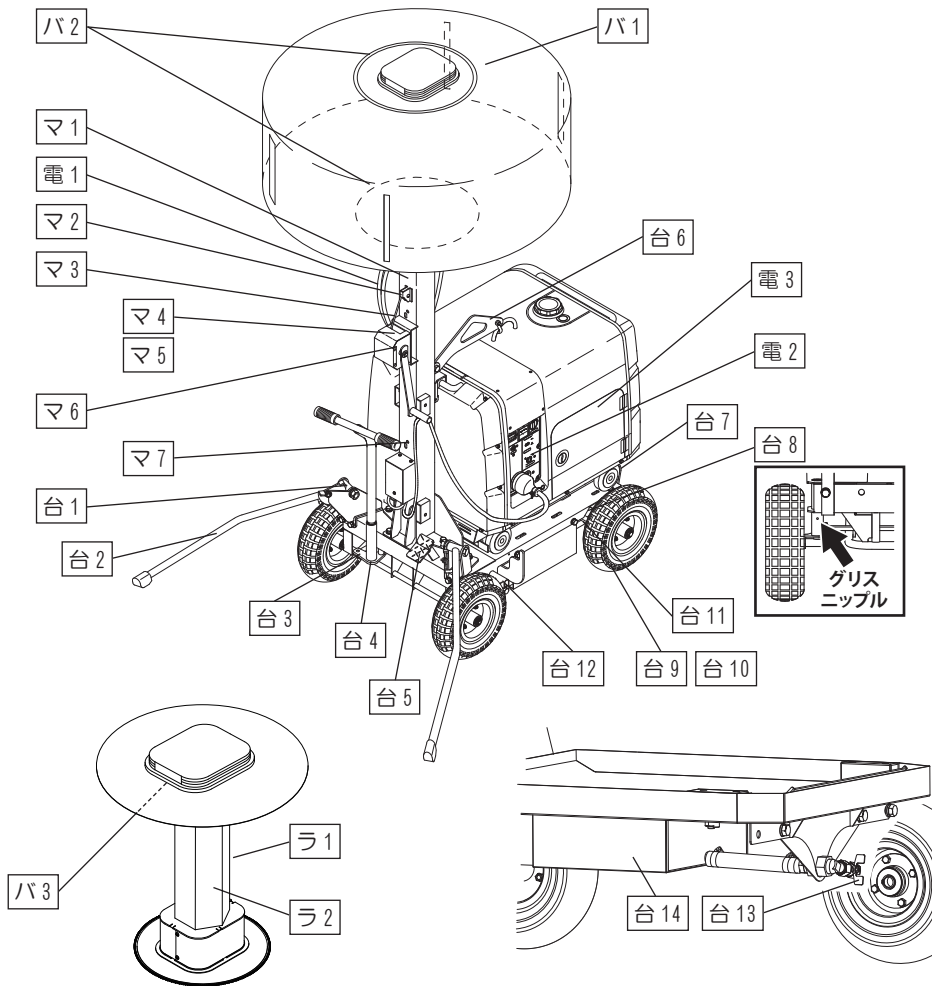
■点検・整備

下表中図欄の記号と次ページの記号を参照して点検・整備をおこなってください。


図	箇所	確認内容	対策	
ランプ (ラ)	1 ランプガード	汚れたり壊れたりしていないか	要清掃/要交換	△
	2 LED ライトユニット	きれいたり、破損したりしていないか	要交換	◎
バルーン (バ)	1 バルーン布	汚れたり、破れたりしていないか	要交換	◎
	2 ファスナー	外れたり、壊れたりしていないか	要交換	◎
	3 ファンモータ	作動は正常か	要修理	●
マスト (マ)	1 マスト摺動面	動きは渋くないか	グリス塗布	●
	2 ウインチ上部にある滑車部	グリス蓋はあるか	グリス塗布	●
	3 ワイヤロープ	ほつれ、錆、折れや型崩れていないか	グリス塗布、要交換	◎
	4 ワイヤロープ末端	ロープ末端のカシメが痛んでいないか	要交換	◎
	5 ウインチブレーキ	ブレーキは効くか	要交換	◎
	6 ウインチ爪	スムーズに動くか	要交換	◎
	7 安全ストッパー	ワイヤロープを弛ませて、ストッパーが突き出るか	要修理	△
台車 (台)	1 ウェイト	軽く動くか	グリス吹付	●
	2 アウトリガー	軽く動くか	グリス吹付	●
	3 操舵リンク	緩みはないか	しっかり締付ける	●
	4 ハンドル固定ボルト	緩みはないか	しっかり締付ける	●
	5 ブレーキペダル	リンク部が軽く動くか	グリス吹付	◎
		切欠きが摩耗していないか	要交換	◎
	6 吊り金具	取付けが緩んでいないか	しっかり取付ける	◎
	7 車輪押え	ボルトが緩んでいないか	しっかり締付ける	○
	8 前車軸受	軽く回るか	グリス注入	●※2
	9 タイヤ	パンクやヒビが入っていないか	要交換	◎
	10 タイヤ空気圧	245～294kPa (2.5～3.0kgf/cm ²) 内か	要調整	◎
	11 連動リンク	軽く動くか	グリス吹付	●
	12 ブレーキ	効きはよいか	要調整	◎
	13 防油堤コック※1	正常に閉めているか	要調整	◎
14 防油堤タンク※1	水、油などが溜まっていないか	要抜く	◎	
電装 (電)	1 ケーブル	線が剥き出しになっていないか	要交換	◎
	2 メインスイッチ	作動は正常か	要交換	◎
	3 無負荷電圧	100～106Vの範囲にあるか	要修理	△

◎…始業前点検 ○…20 時間毎 ●…100 時間毎 △…500 時間毎
(時間は目安です。始業前点検は各点検毎におこなってください。)
(発電機に関しては別冊の発電機取扱説明書をお読みください)

※1 LB080D-B のみ
※2 100 時間毎または
1 ヶ月毎の早い方



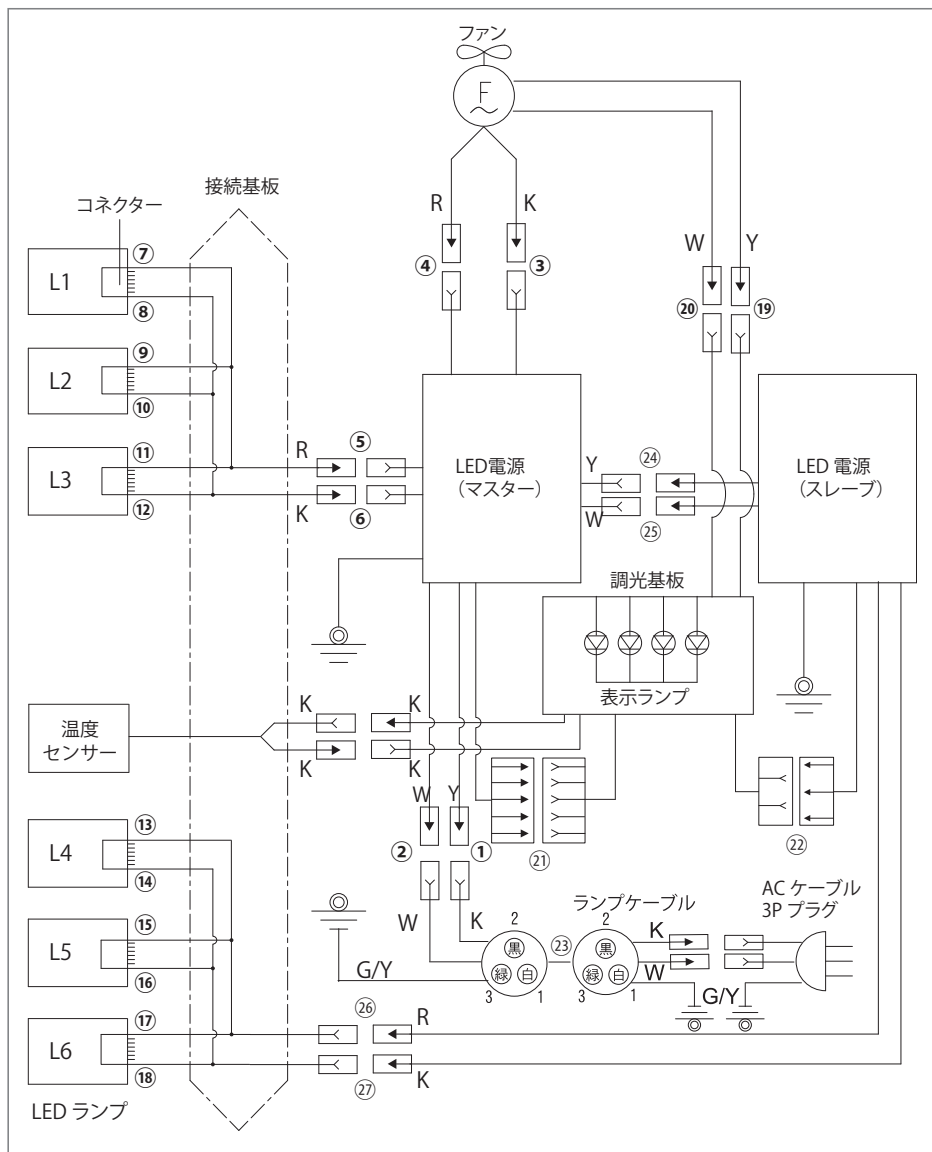
⚠ 危険 発電機作動中に電源プラグを差し込んだまま電気系統を点検・整備すると誤ってショートするおそれがあります。点検・整備前に必ず電源プラグを抜いておこなってください。



- 保管**
- 泥や汚れを落とし、注油・グリスアップをおこないます。
 - マストを完全に下げ、ワイヤーロープの張りを緩めます。
 - バルーンランプ部は、バルーンカバーを使用してください。
 - ブレーキをかけ、雨ざらしや湿度の高いところを避けて保管してください。

◆トラブルの対処方法

1. 回路図

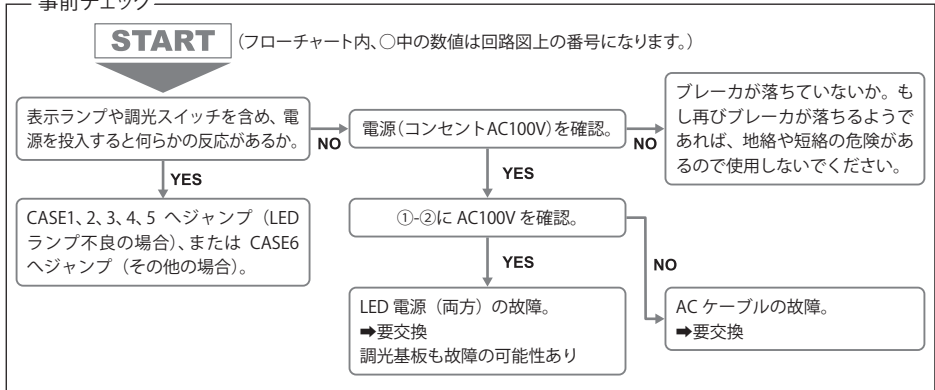


R: RED
 K: BLACK
 Y: YELLOW
 W: WHITE
 G/Y: GREEN/YELLOW

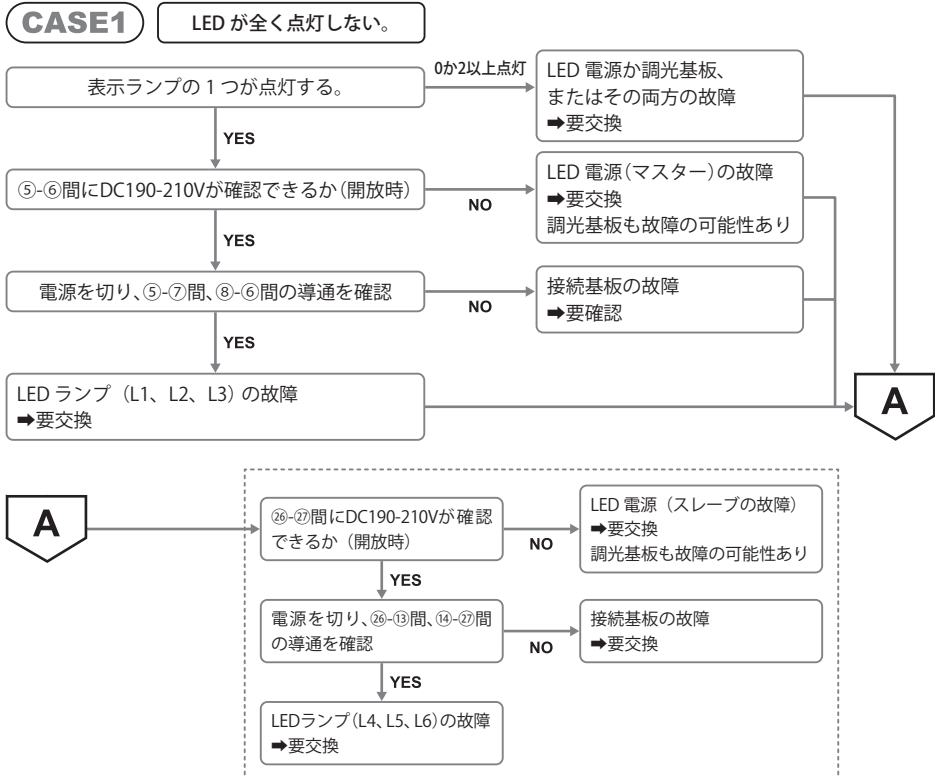
2. ランプの点灯障害

◎他の機器を使用していない電源でテストを行ってください。

事前チェック

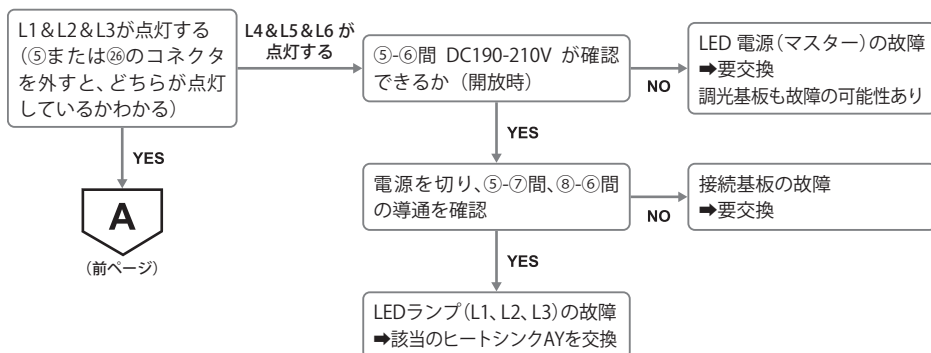


ランプが点灯しない等



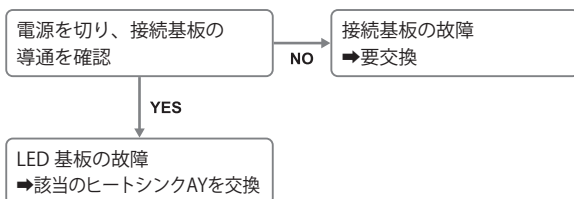
CASE2

LEDが半分(180°)点灯しない



CASE3

LED基板が1面または2面、面全体が点灯しない



CASE4

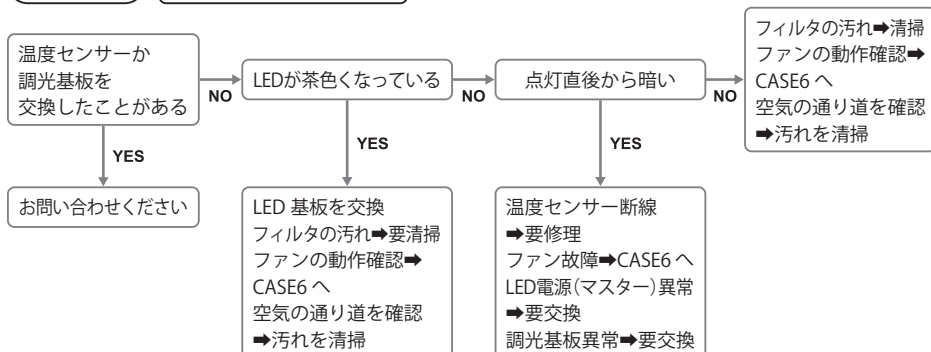
LEDが1~数粒点灯しない

NO

LED チップの故障
→該当のヒートシンクAYを交換

CASE5

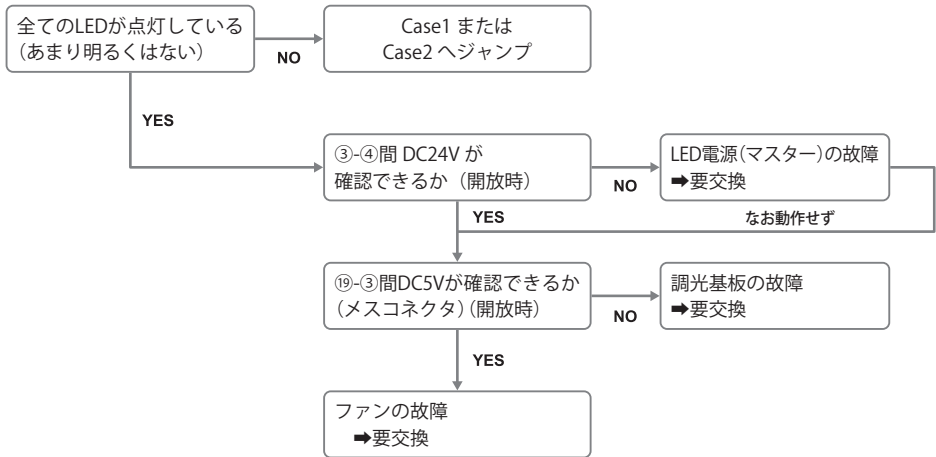
LED が暗い



ファンの動作障害

CASE6

ファンが動かない



3. バルーンのエアー不足

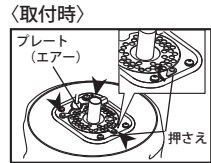
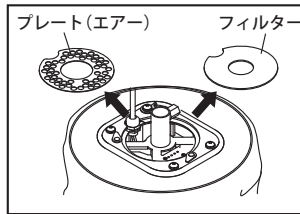
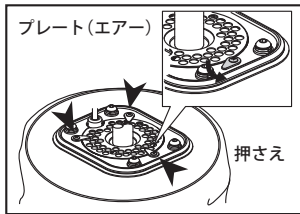
◎ファンが正常に回っていることを確認してください。

バルーンが十分に膨らまない

- | | | |
|----------------|---|---------------|
| 1 ファスナーが開いている | → | ファスナーを完全に閉める |
| 2 布が破れている | → | 布の補修または交換 |
| 3 フィルターが詰まっている | → | フィルターの清掃または交換 |

フィルター清掃方法

■フィルターの取り外し



取外し時の逆順で取付けてください。

フィルター側が上にくるようにバルーン部を置き、プレート(エアー)の3つの押さえをスライドさせます。

プレート(エアー)を外して、フィルターを取り外します。

■簡易清掃

●手ではたく



●掃除機で吸い取る



■洗浄

- 洗剤を使用する場合は**中性洗剤**を使用してください。
- 洗濯機に入れる場合は、**洗濯ネット**などに入れてください。
- 洗浄後、**十分に乾かして**から取り付けてください。
→水分を含んだままですと、吸入が不十分になります(冬季は凍結する場合があります)。

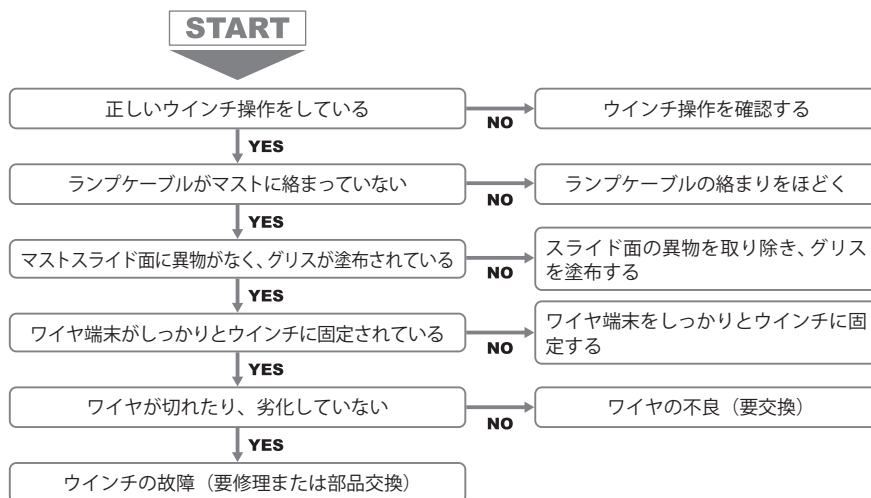
タール等が固着している場合は交換してください。
(部品 No. A-4004430-00 フィルタ)

4. マストの昇降障害

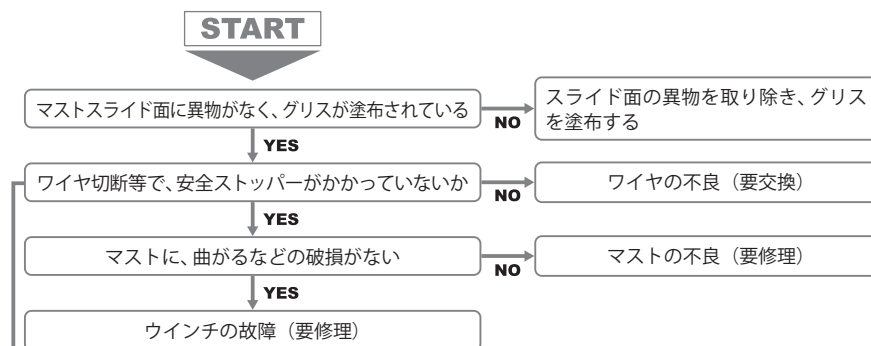
◎まわりをよく見て安全を確認してください。

◎手などをはさまないように注意してください。

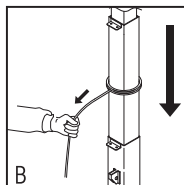
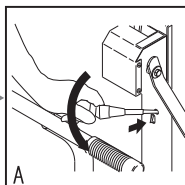
マストが上がらない



マストが下がらない



解除、下降の方法



図A矢印部分をドライバー等で押し安全ストッパーを解除して、図Bのようにマストにロープ等をかけ引っ張りながらマスト急落下を防止し徐々に下降させます。

急落下に注意

5. その他

ランプが点灯しない

確認場所	対策
電源プラグが確実に差し込まれているか？	電源プラグを差し直す。
発電機メインスイッチが（ON）になっているか？	スイッチを（ON）にする。
結線部が外れているところはないか？	該当箇所を修正する。
発電機に投光機以外の電気器具を接続していないか？	他の機器の接続を外す。
発電機の電圧は正常か？（無負荷時100V～106V）	電圧を適正にする。

◆主要諸元表

型 式		LB080D	LB080D-B	LB080DI	LB080GI	
投 光 機	電 圧 (V)	AC100				
	周波数 (Hz)	50/60				
	電 流 (A)	8.6				
	ラ ン プ	種 類	LED			
		全光束 (lm)※	110,000			
		使用可能周囲温度 (°C)	-10~40			
	マ ス ト	マスト形式	伸縮式3段(ワイヤー切マスト落下防止安全ストッパー付)			
		マスト操作	手動ウィンチ(逆巻き防止機構付)			
	台 車	操舵方式	手押し舵取り方式			
		タイヤ	外径 300mm 空気入りタイヤ(4.10/3.50-5)			
		タイヤ空気圧 (kPa)	245~294(2.5~3.0kgf/cm ²)			
		ブレーキ	足踏み式駐車ブレーキ			
		アウトリガー	後方展開 - ワンタッチ式(標準装備)			
	寸 法	作業時(L×W×H) (mm)	1550×1600×2320~4420			
収納時(L×W×H) (mm)		1040×800×1780				
	質量 (kg)	105	117.2	105	107	
発 電 機	型 式	ヤンマーディーゼル発電機			ヤンマーガソリン発電機	
		YDG250VS-5E/6E		YDG200VSi	G2800iSE	
	出力 (kVA)	2.0(50Hz)/2.5(60Hz)		2.0	2.8(50Hz)/2.8(60Hz)	
	始動方式	セル式			セル式 (リコイルスタータ式)	
	使用燃料	ディーゼル軽油 (JIS2 号)			無鉛ガソリン	
	満タン容量 (L)	15			12	
	オイル警報装置	油圧警報ランプ (自動停止)				
	乾燥質量 (kg)	145		146	68	
	総質量 (kg)	250	262.2	251	175	

※表記数値は最大値。LED 素子には製造工程でのばらつきがあり、製品ごとに明るさ、光色が異なる場合があります。

- 仕様は改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 文中の図と現品が異なる場合があります。
- 発電機のマッチングの問題により、点灯しない場合があります。

⚠危険

設置状況によって転倒の危険が異なります。転倒防止のため強風時や傾斜地、および発電機が搭載されていない状態などでは必ず転倒防止装置(アウトリガー)を使用してください。また場合によっては、より安全性を増すために、ロープと枕木による固定をおこなってください。

◆わからないことや、故障したら

本機についてわからないことや、故障が生じたときはつぎのことをメモし、お近くの販売会社、特販店にお問い合わせください。

●ご使用機の型式名と製造番号（ネームプレートに記載）

LB080D - 〇〇〇〇〇〇

●ご使用環境

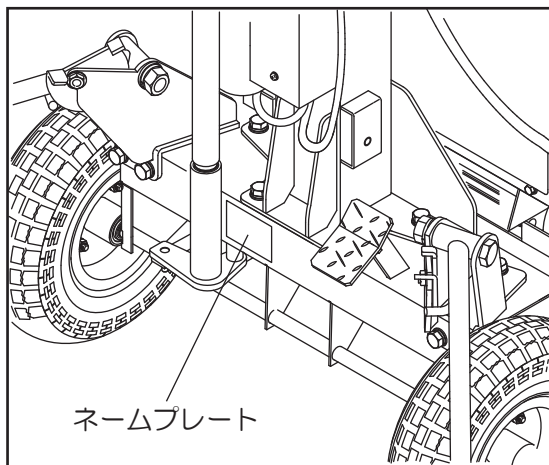
どんな環境で

●どれくらい使用されましたか

約〇〇時間（発電機のアワーメーターなどでご確認ください）

●故障したときの状況をくわしくご説明ください

くわしい状況を



安全確認説明事項

型式名	製造番号 No.
-----	-------------

下記の販売説明者から、この製品の安全な取扱いと操作方法について説明を受けました。

説明内容および確認事項	確認 <input checked="" type="checkbox"/>	説明内容および確認事項	確認 <input checked="" type="checkbox"/>
取扱説明書の受領	<input type="checkbox"/>	各部の操作方法	<input type="checkbox"/>
安全上の注意の説明	<input type="checkbox"/>	点検・整備方法	<input type="checkbox"/>
警告表示の内容と貼付位置説明	<input type="checkbox"/>	故障したときの処置・連絡	<input type="checkbox"/>
使用準備方法	<input type="checkbox"/>	保証書・保障事項について	<input type="checkbox"/>

説 明 日	令和 年 月 日
納 入 日	令和 年 月 日

お 客 様	住 所	〒□□□-□□□□
	会 社 名	Ⓜ ()
	名 前	Ⓜ
販 売 店	住 所	〒□□□-□□□□
	店 名	Ⓜ ()
	納入説明者氏名	Ⓜ



株式会社ライトボーイ

〒183-0025

東京都府中市矢崎町1-39-1

電話 (042)319-2138 FAX(042)319-2198

<https://www.light-boy.com>

